

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月17日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		国の定めた基準以上の広さを確保し、適正になるよう療育と余暇の部屋を分けています。また、三密にならないよう取り組んでいます。	今後も定員に合ったスペースの中で療育と余暇とで異なる活動スペースを分けてメリハリを持たせ、三密にならないよう努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切である	○		国の基準を満たし、基準以上の人員と児発管、保育士、児童指導員等の有資格者を配置出来るよう配慮し、ローテーションを組んでいます。	今後も継続して適切な配置に努めて参ります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		屋内は段差が無いよう工夫をしていますが、事業所が1階と2階に分かれた構造であるため階段の上り下りの際は、複数で対応する等の配慮を欠かさず行なっています。	今後も、一人ひとりに応じた適切な環境設定に努めて参ります。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日の引継ぎやリフレクション会議を行う事で、振り返りや業務改善に努めています。	今後も同様に引継ぎやリフレクション会議等を行い、業務改善に努めて参ります。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表に書かれているご意見を基に改善するように努めています。また、事業所玄関にご意見箱を設置し、広くご意見を求めています。	今後も同様に評価を参考に業務改善に努めて参ります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開し、また事業所内にも掲示しております。	今後も結果は、公式 Web サイトで公開を行い、事業所の自己評価・保護者様からの評価を踏まえて、サービスの質の向上に役立てて参ります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に社内研修を行っています。地域の研修にも参加して、職員間で共有しています。	今後も、研修を通して職員の資質の向上を図って参ります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画を見直す際には、必ずアセスメントを適切に行って、計画の更新と作成に臨んでいます。	今後も継続してアセスメントを適切に行い、計画書を作成して参ります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一化されたアセスメントシートを使用し、情報は個人ファイルに保管して活用しています。	今後も継続して使用し適切にアセスメントツールを活用し、児童の状況把握に努めて参ります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援計画時や活動プログラムの作成時には、職員全員で話し合いをしています。	今後も児発管を中心に個別支援計画や、プログラム立案には職員全員で関わり、より良い支援ができるように努めて参ります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎日、引継ぎの中で話し合いを行い、プログラムを工夫して固定化しないよう集団療育等も取り入れています。	今後もプログラムが固定化しないよう職員間で話し合い、工夫に努めて参ります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は個々にあった学習内容を工夫し、長期休暇や休日には、集団での関わり方の学びなどを取り入れて、楽しく過ごせる工夫をしています。	今後も個々の児童の状況と支援計画を考慮して、長期休暇などには日頃できない充実したプログラムの計画を行って参ります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	今後も保護者様と共通理解のもと、特性や状況に応じて支援計画を作成して参ります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の引継ぎの中で、前日の様子を振り返り、情報を共有し、その日の状況に合った支援を行っています。	今後も同様に、毎日引継ぎを行い、確認して参ります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の内に伝えるべきことは出勤している職員全員で振り返り、翌日には当日不在の職員にも打ち合わせで情報共有を行っています。	今後も同様に、職員全員で振り返りと共有を行って参ります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の療育内容は必ず当日に記録し、職員間で見直しを行い、検証・改善に取り組んでいます。	今後も同様に記録を取り検証・改善に繋げて参ります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年以内を目安に、モニタリングを定期的に行い、児童の状況や課題、保護者様のご意向を踏まえた計画の見直しを行っています。	今後も同様にモニタリングと計画の見直しを行って参ります。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援が必要な項目で、適切に選択し、具体的な支援内容を設定できるよう努めています。	今後もガイドラインに沿って項目の選択・支援内容が適切になるように努めて参ります。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童の状況に精通している児発管が担当者会議に参加しています。	今後も児発管が参画して参ります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者様から学校行事や時間変更を教えて頂き、学校とも連携を図り、下校時刻の確認等連絡調整を行っております。	今後も同様に連絡調整を適切に行い学校との連携を図って参ります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索して参ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前に学校で相談員や各関係機関と共に会議を行い、情報共有と共通理解に努めています。	今後もより良い支援ができるよう、支援会へ参加し情報共有と相互理解に努めて参ります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		関係機関で支援内容等の情報を共有する会議に参加し、卒業後にスムーズに引継ぎできるようにしています。	今後も、支援内容等の情報を詳しく提供させて頂きます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関と連携し、担当者会議等に参加し、相談支援専門員等から助言を受けています。	今後も同様に、専門機関との連携を図って参ります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナ禍の影響もあり、交流や活動の機会は設ける事ができませんでした。	コロナ収束後に、保護者様のご意向もあがりながら、受け入れ可能な施設があれば企画や催しへの参加を検討して参ります。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○	コロナ禍でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は、積極的に参加して参ります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に児童の状況や課題等を報告し、連絡ノートも活用して共通理解を深めています。	今後も同様にあらゆる機会を通じて共通理解を図って参ります。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者様のお悩みやご相談と一緒に考え、助言し支援を行っています。	今後も継続して、保護者様のお悩みに寄り添う支援を行って参ります。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書、契約書を通し、丁寧な説明に努めています。契約時のみならず保護者様のご要望がある時は、再度解りやすく丁寧に説明しています。	今後も詳しく説明を行いご理解頂けるまで丁寧な説明を行って参ります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育てについてご相談があった場合には職員全員で話し合い、より良い助言や支援を行えるように努めています。	今後も保護者様のお話をよく傾聴し丁寧な対応を心掛け寄り添えるよう努めて参ります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者様同士の交流機会を企画しておりましたが、コロナの影響があり、今年度は参観日や交流機会を設ける事ができませんでした。保護者様から掲示物等の依頼があれば皆様の目に留まる場所に掲示しています。	コロナ収束後、ご意見を頂きながら、保護者会等で、保護者様同士が共に交流できるような機会を検討して参ります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		現時点まで重大な苦情を頂くことはありませんでしたが、ご意見箱を設置し、ご意見があった場合速やかに対応し返すよう努めています。	今後も同様にご意見や申し入れには迅速かつ丁寧に対応して参ります。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		季節ごとに「おたより」を発行しています。また公式 Web サイトのブログで月に1回程度、事業所の活動内容をご紹介します。サイトについては保護者様へご案内を配布しています。	今後も定期的な「おたより」や Web サイトでのブログでの活動報告などは継続して参ります。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報に記載された書類の破棄はシュレッダーを利用し個人ファイルの保管については、鍵付の書庫にて保管・管理しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い取り扱いや保管を行って参ります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者様や利用児童に合わせて分かりやすい説明や伝達ができるように努めています。	今後も口頭での連絡や相談対応だけでなく、重要なことは書面でお伝えし、児童や保護者様にご理解頂けるように配慮して参ります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度は、コロナ感染症予防の観点から、行事に地域住民をご招待する企画を行うには至りませんでした。	今後コロナの事態が収束した際には、保護者様のご意向を確認して、同意を得た上で企画を検討して参ります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者様に各種マニュアルをご覧頂けるよう、事業所内に掲示しております。各種マニュアルを元に避難訓練を計画しています。	今後も、保護者様にも都度周知し、確認し、正しいよう掲示場所への配慮も行って参ります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っている	○		年度初めに年間計画や、定期的に地震、火災、不審者等必要な訓練を行っています。	今後も児童の命を守ることを第一に考え、火災、地震、風水害についての避難訓練を継続して参ります。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業者内で職員研修を行い虐待防止について周知に努めています。	今後も研修を続け、虐待防止について知識を深め適切な対応への研鑽に努めて参ります。	
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		原則として契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、止むを得ず必要となる場合には、児童や保護者様に十分なご説明を行い、承諾を得て計画に記載するようにしています。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ書面により保護者様から同意を得て、また、個別支援計画にも記載して参ります。	
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーが疑われる児童に関しては、保護者様と情報共有し、職員間で把握に努めています。	アレルギーについては細心の注意を払い、保護者様へも医師の指示書を依頼するなど、情報の把握に努めて参ります。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例報告書を作成し、都度職員全員で振り返りを行い、周知徹底しています。	今後も継続して記録作成を行い、再発防止に努めて参ります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。